

# NEWS RELEASE



東京を走らせる力

26-09

2026年2月4日

## 線路設備モニタリング装置搭載車両「ぱとれーる」の営業開始に向けた シンボルキャラクターの公募を実施します

東京地下鉄株式会社（本社：東京都台東区、代表取締役社長：小坂彰洋、以下「東京メトロ」）は、走行中に線路の状態を常時計測・監視する線路設備モニタリング装置搭載車両を「ぱとれーる」（商標登録出願中）と命名しました。2026年度下期より開始する東西線での営業運転に向けて、「ぱとれーる」の顔となるシンボルキャラクターの募集を実施いたします。

東京メトロでは状態基準保全（CBM：Condition Based Maintenance）を推進するために、相直他社車両に搭載されている線路設備モニタリング装置を活用し、2024年度より走行時に設備の状態や線路のゆがみを常時計測・記録しています。高頻度に取得したデータにより線路の変化を精度よく把握することができ、従来の巡視や定期検査と組み合わせることで、安全性と保守効率のさらなる向上を目指しています。

この度、2026年度下期に東西線において、東京メトロ保有車両に初めて線路設備モニタリング装置を搭載します。多くのお客様に鉄道の安全を支える取り組みをより身近に感じていただくことを目的に、線路設備モニタリング装置搭載車両を新たに「ぱとれーる」と命名し、『走りながらレールを見守る相棒』をテーマとしたシンボルキャラクターを募集いたします。

ぜひ、線路の状態を日々見守る取り組みに携わってみませんか？多くのご応募をお待ちしております。  
詳細は別紙のとおりです。



軌道モニタリング搭載車両「ぱとれーる」  
シンボルキャラクター公募要項

1 募集テーマ

「走りながらレールを見守る相棒」

線路の状態を日々見守り、鉄道の安全運行を支える親しみやすいキャラクターを募集します。

2 募集内容

線路設備モニタリング装置搭載車両のシンボルキャラクターのデザイン

※車両へのラッピングデザインは当社で行います。

3 応募資格

年齢問わずどなたでもご応募いただけます。

※プロ・アマは問いません。

※未成年者の場合は保護者の同意が必要です。

4 公募受付期間

2026年2月4日（水）から2026年3月27日（金）

5 応募方法

以下応募フォームから必要事項を入力し、画像データ（PNG/JPEG/PDF）をアップロード

応募フォーム URL:<https://forms.office.com/r/rc6aJ55GUL>

6 表彰

最優秀作品賞をシンボルキャラクターとして正式に採用し、該当車両の車体にラッピングされるほか、広報活動等に活用いたします。入賞された方には当社より粗品をご用意いたします。

- ・最優秀作品賞（1点）
- ・優秀作品賞（2点）

7 応募要項

- ① 応募作品は 自作・未発表のものに限ります。
- ② 応募点数は1人1作品までとなります。
- ③ ご入力いただいた個人情報は、当社が別途定める「[個人情報の取扱いについて](#)」に基づいて取り扱います。
- ④ 電車ラッピングの製作上、キャラクターのデザイン及び色を変更する場合がございます。
- ⑤ 選考結果、選考過程及び採否理由に関するお問い合わせには応じかねます。
- ⑥ 企画内容及びスケジュールは予告なく変更になる場合がございます。

## 8 著作権等の取扱いについて

- ・本公募に応募された作品のうち、最優秀作品賞及び優秀作品賞として採用した作品に関する著作権その他の知的財産権は、採用時点をもって、対価を要することなく、すべて当社に帰属するものとします。
- ・採用作品が、既に発表されている作品もしくはこれに類似する作品であること、他の作品の著作権等を侵害するおそれがあることまたは以下規定もしくは公募要項に違反することが判明した場合には、選考結果の発表後でも採用作品としての採用を取り消す場合があります。
- ・その他、応募作品の著作権等の取扱いについては、当社が別途定める「[著作権等の取扱いについて](#)」をご確認ください。

## 9 選考と発表

- ・社内選考委員会による選考を行い、2026年5月頃事務局よりご連絡いたします。
- ・2026年6月頃、プレスリリースにて発表予定です。

## 10 公募に関するお問い合わせ先

ぱとれーる事務局

E-Mail : [monitoring\\_pr@tokyometro.jp](mailto:monitoring_pr@tokyometro.jp)

## 【参考】 線路設備モニタリングとは

線路設備モニタリングとは、これまで人が現場で行ってきた線路の点検の一部を、お客様にご乗車いただいている営業列車が走りながら計測・記録できるようにした仕組みです。集めたデータを活用して、異常の兆しを早めに見つけ、保守作業をより確実・効率的に進めます。

データを取得する線路設備モニタリング装置は、主に2種類の装置があります。

### 1. 軌道材料モニタリング装置

レールや、レールを止める金具（締結装置）、まくらぎなどを画像で見守る装置です。

2種類のカメラ（形状を測るカメラ/物体をはっきり写すカメラ）を組み合わせて、設備の状態を確認します。

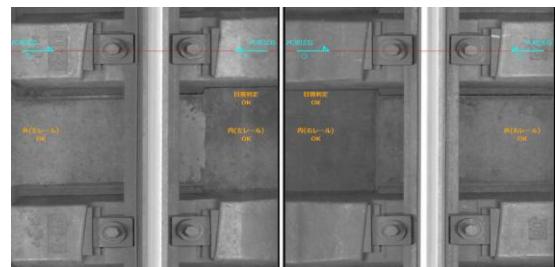
### 2. 軌道変位モニタリング装置

レールにレーザーを当てて、線路のゆがみ（変位）を計測する装置です。

計測した結果はリアルタイムでクラウドへ伝送され、線路の変化を見て「少しずつ悪くなっていないか」をつかみます。



線路設備モニタリング装置（JR 東日本提供）



モニタリング画像

これらの装置を搭載し、走りながら線路の状態を見守る車両が、線路設備モニタリング装置搭載車両「ぱとれーる」です。

以 上